



開会式のリハーサルに臨んだ八学光星の奥村幸本将(右)と山田錦星(左)19日、甲子園

# いざ東北勢初Vへ

第88回選抜高校野球大会は、森田の両校主将は「いよいよ、兵庫県西宮市の甲子園」が始まる実感が高まったと持ちが麗々まこと、いよいよという思い。フレッシュな全国から選ばれた各校だ。リハーサルは18日から続いたので、実力は出せる」ときき、史无前例の同時出場となる。大雨のため、バックネット裏は、青森山田の内田恵生八学光星と青森山田が、東北の観客席を満す。各高校の将は「アラウンドに進んでき勢初の出場を目指す。19日は、主将とフレンドシップを持って生徒、なかたが、もう始まるんだ甲子園で開会のリハーサルが通路を歩き、式の流を確認しながら、出陣した光星と青森山田が、手、教員気は昨年の優勝校

## センバツきょう開幕

### 光星、青森山田 本番控え高揚感

なので、強い精神で向かっていこうと力を込めた。開会式は20日、朝9時から始まり、入場行進では前回の優勝校の教員気は先頭に、北から順に登場。光星は3番目、青森山田は4番目に進軍する。選手直撃は小豆屋(青森)の橋本尚也主将が務める。終後は柳井大福井(福井)の柳井学園(奈良)など、1回戦3試合が行われる。(戸康成)

### OB坂本から贈り物

○光星OBに大きなで、回転させると車輪が3つアセント。OBの坂本あり、球の伸びが体現できる。巨人(巨人)から投球マシンというプレゼント。練習で選手たちが奮闘され、19日は、選手たちがヒカヒカの練習で初のお披露目となる。OBから放たれた速球を感心して打ち返していた。仲井宗基監督のリクエス。2006年春、坂本の世トに託してくれたとのことで、代が出席したセンバツでは

**センバツ 使い**



**138キロは出したい**

光星 ①安藤譲二(3年)  
二投手、白銀中出

しまし。最速は136キロだ。甲子園で登板機会がある。19日は、ナイフは次々と鋭い当たりを飛ばしている。投手としてくくがをしないように、風呂上がりはアイシングをしたり、時間があればストレッチしたりと体のケアを大事にして過ごしています。もうすぐ初戦という感覚はあまりないけれど、いい緊張感とフレッシュな気持ちが入っています。甲子園では青森の代表として精いっぱい戦いたいです。

野球場で約9時間にわたって調整した。打撃のみで二ノミで、ナイフは次々と鋭い当たりを飛ばしている。投手としてくくがをしないように、風呂上がりはアイシングをしたり、時間があればストレッチしたりと体のケアを大事にして過ごしています。もうすぐ初戦という感覚はあまりないけれど、いい緊張感とフレッシュな気持ちが入っています。甲子園では青森の代表として精いっぱい戦いたいです。

### 打撃のみで 2時間練習

光星OBの坂本勇人(巨人)から贈られた投球マシン。19日の練習でお披露目となった。光星OBの坂本あり、球の伸びが体現できる。巨人(巨人)から投球マシンというプレゼント。練習で選手たちが奮闘され、19日は、選手たちがヒカヒカの練習で初のお披露目となる。OBから放たれた速球を感心して打ち返していた。仲井宗基監督のリクエス。2006年春、坂本の世トに託してくれたとのことで、代が出席したセンバツでは



打撃練習に励む八学光星チーム19日、西宮市津門中央公園野球場